

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 2年 2月 26日

公表:令和 2年 3月 6日

事業所名 : びよランド

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動部屋には物品をなるべく置かないようにし、スペースを有効に使っている。	・引き続き環境整備を行っていく。
	2 職員の配置数は適切である	○		・基準よりも多く常勤者(有資格者)を配置している。	・職員、一人一人の質を上げて安心して利用して頂けるよう努めていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		・肢体不自由児にとって過ごしやすい環境になるよう今後も検討していきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・衛生面には特に不備がないよう心がけている。また、壁面にも工夫を凝らし子ども達が心地よく過ごせる空間となるようにしている。	・引き続き環境整備を行っていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・部署内会議にて目標の振り返りを行っている。	・PDCAを意識して業務効率化を進める。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・保護者が話しやすい環境、雰囲気を作る。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年恒例に実施している。	・毎年恒例に実施している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・他部署等、違う視点からアドバイスをもらい業務改善に繋げていきたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・色々なネットワークを利用して研修に参加している。	・研修情報は広く職員に発信していく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・利用児と保護者	・本児の将来像をイメージしながら計画をたてて実践する。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・今までのアセスメントは記入入力所が多すぎて保護者の方への負担が多かった為、新年度より新しい様式に変更予定。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・家族、兄弟の相談など精神科医による相談の機会を設けている。	・家庭環境とのバランスをみながら共に育てる意識で支援内容を設定していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・毎日、支援計画の確認をしながら支援を行っている。	・毎日、支援計画の確認をしながら支援を行っていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・部署例会議にて話し合いを重ねている。	・チームワークを意識して支援にあたる。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・週案を立てて、グループ分けを行い取り組んでいる。	・活動の目的を共有し実践していく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・個の特性に応じた内容にしている。	・個別の状況や成長段階に応じる計画を立てて実践する。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・活動内容や役割は一目でわかるようボードに記している。	・毎日、支援計画を確認しながら支援を行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			・もう少し振り返りの時間が取れるよう業務の改善が必要。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・ケース記録をつけて会議で振り返っている。	・ケース記録をつけて会議で振り返りを行う。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・部署内会議にて職員全体での話し合いを重ねている。	・部署内会議にて職員全体での話し合いを重ねていく。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・支援担当者が参加できるように調整している。	・支援担当者が参加できるように調整していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			・今後も連携していく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・学校での様子はお迎え時に先生から具体的に聞くようにしている。	・市のケア会議に参加して情報共有の発信をしている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		・安全委員会の報告書を主治医に送付し情報を共有している。	・安全委員会の報告書を主治医に送付し情報を共有していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・地域の支援学級との連携にも積極的に取り組んでいきたいです。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・社協が企画する研修等に積極的に参加している。	・社協が企画する研修等に積極的に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・自立支援協議会に参加している。	・自立支援協議会に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・受け入れや引き渡しの際に日々の家庭での様子を積極的に聞くようにしている。	・今後も家庭での様子を積極的に聞き、共通理解していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			・今後、保護者向け勉強会の内容に入れるよう検討する。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・今後も変更があった時はしっかり説明、同意を行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			・引き続き同意を得ながら進めていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・こちらから保護者の表情を見て声かけしている。	・日頃の話やすい雰囲気とコミュニケーションを大切にしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・保護者同士が話せる機会を作れたら良いと思っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・わかることはすぐに、わからないことは上司に聞いて速やかに伝えている。	・引き続き速やかに対応していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・お便りやSNSで発信している。	・引き続きお便りやSNSで発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・外部へは匿名を使う等配慮している。	・保護者の同意を得て正しく取り扱っていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・伝達方法を場に応じて変えている。	・できる限り配慮していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		福祉センターで発表会を開催し、地域との交流を図った。	・今後も地域で必要とされるよう意識していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・防犯マニュアルは保護者に周知できていないので早急に検討したい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・月に一度は必ず行っている。	・色々な場面を想定して取り組んでいきたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	・発作がある児の情報はすぐに対処できるよう分かりやすい場所に掲示してある。	・管理方法や基準を作っていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・該当時のアセスメントをしっかり把握し共有していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・毎月会議で振り返りを行い、対策している。	・引き続き定例会議で振り返りを行っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・虐待防止月間には部署内で研修を行っている。	・定期的に話し合いを行い理解をしていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	・会議等で話し合っている。	・事案がある時には適切に対応していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。